



歩兵第31連隊門柱と秩父宮碑

秩父宮殿下ご在隊記念碑

昭和10年8月、昭和天皇の弟君である秩父宮雍仁親王が歩兵第31連隊の第三大隊長として翌11年12月までの約一年半弘前市に赴任されました。駐屯地内には歩兵第31連隊の門柱と旧軍跡地から移設した在隊記念碑が展示されています。



防衛館（旧第8師団長室の一部）

防 衛 館

軍都として地域と共に栄えた弘前は、幸いにも大戦時の空襲から逃れ「偕行社」など多数の貴重な史跡を残しており、駐屯地内の防衛館には、日露戦争における活躍から「国宝師団」と呼ばれた第8師団などに関連する旧軍時代の資料や記念品が展示されています。

また、弘前駐屯地の創立からの歴史年表や東日本大震災や国際平和協力活動の活動内容などの写真、関連資料等も一般公開しています。

駐屯地へのご案内



【所在地】

〒036-8533
弘前市大字原ヶ平字山中18-117

【交通案内】

東北自動車道一大鷹弘前ICから車で20分
JR弘前駅から車で20分
(JR弘前駅から弘南バス・自衛隊行き有り)
弘南電鉄大鷹線・千年駅から徒歩20分

【連絡先】

陸上自衛隊弘前駐屯地 広報室

TEL (0172) 87-2111
(内線205~207)
FAX (0172) 87-2111
(内線298)

駐屯地見学・生活体験ご希望の方は、遠慮なくお問い合わせ下さい。

弘前駐屯地ホームページ

<https://www.mod.go.jp/gsd/nae/hirosaki/hirosaki/>



自衛隊青森地方協力本部ホームページ

<https://www.mod.go.jp/pco/aomori/>



陸上自衛隊 弘前駐屯地

～郷土と共に～



沿道には移駐を喜ぶ人々が溢れる

弘前駐屯地の沿革

旧陸軍第8師団が弘前に所在した、かつての「軍都」としての繁栄を再現しようと、弘前商工会議所を中心とした地元の方々の強い自衛隊の誘致運動が行われ、昭和43年に弘前駐屯地は創設されました。駐屯地敷地は、市や土地関係者54名の方々の協力を得て、旧陸軍第8師団が使用していた射場跡となりました。

弘前駐屯地に移駐となった第39普通科連隊500名と第9偵察隊50名は、昭和43年3月25日に八戸から臨時列車で弘前駅に到着しました。駅前では日の丸の小旗を手にして歓迎する市民約2000名に迎えられ、歓迎式に引き続き、音楽隊を先頭に駐屯地までの約6kmの道のりをパレードし、沿道からの歓迎やビルから舞う紙吹雪の中、駐屯地に入りました。

現在、弘前駐屯地には、第39普通科連隊、第9偵察隊、業務隊など合計9コ部隊が駐屯し、約1100人の隊員等が勤務しています。



駐屯地まで約6kmの道のりをパレード

駐屯地の四季

駐屯地は、四季の豊かな津軽地域において、それぞれの季節の中で、祭りの協力や参加を含め地域との交流を深めています。

春



駐屯地記念行事

夏



弘前ねぶたまつり

秋



市中パレード

冬



弘前城雪燈籠まつり

地域との交流事業

駐屯地では、地域の方々に部隊の活動などについて、より知っていただくため、様々な交流事業を行っております。



駐屯地モニター等
部隊見学



航空機体験搭乗



職場体験

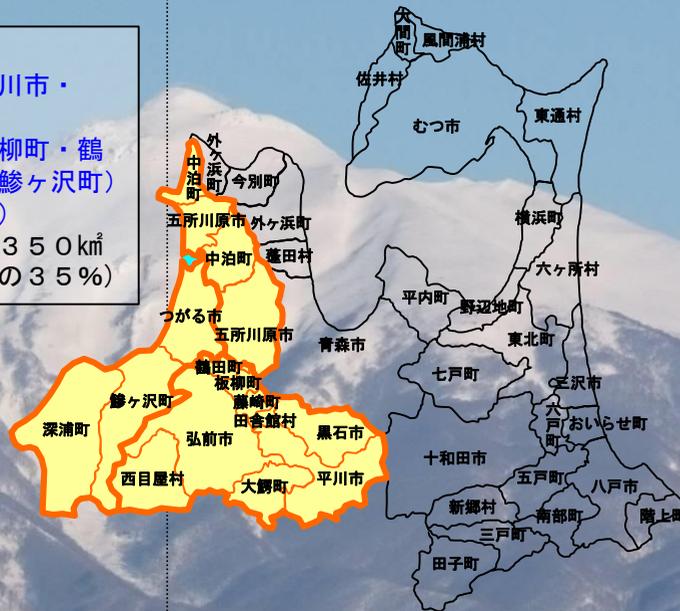


駐屯地見学
(陶芸教室)

警備隊区の様況

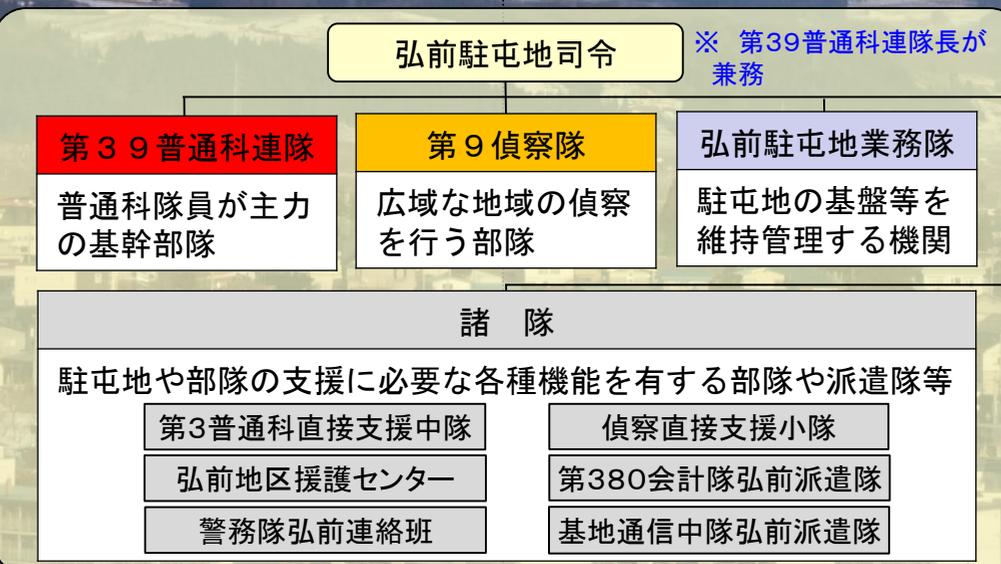
駐屯地は、青森県西部地区（5市・7町・2村）の防衛・警備、災害派遣等を担任しています。

市町村数（14市町村）
5市（弘前市・黒石市・平川市・五所川原市・つがる市）
7町（大鰐町・藤崎町・板柳町・鶴田町・中泊町・深浦町・鯉ヶ沢町）
2村（田舎館村・西目屋村）
※ 隊区の総面積は、約3350km²（東京の1.6倍・青森県の35%）



駐屯地の所在部隊

駐屯地には、基幹となる第39普通科連隊をはじめ、様々な任務を有する合計9コの部隊・機関が所在しています。



各種活動

駐屯地の所在部隊は、国際平和協力活動や災害派遣活動の任務を遂行しつつ、あらゆる任務を完遂できるよう訓練しています。

国際平和協力活動等



第3次
ハイチ派遣国際救助隊



第5次派遣海賊
対処行動航空隊警備隊

災害派遣



東日本大震災

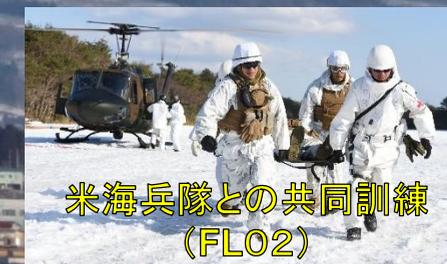


令和元年台風15号

教育訓練



米国実働訓練
(JRTC)



米海兵隊との共同訓練
(FLO2)



八甲田雪中行進



師団射撃競技会